

# イントロダクション 政府デジタルサービスの展望

東京大学公共政策大学院

奥村 裕一

2017年12月4日

# 電子政府から政府デジタルサービスへ

## • 電子政府

- コスト削減
- 窓口業務の簡素化

## • デジタルガバメント

- オープン
- ソーシャルメディア
- 永遠のベータ版

## • 政府デジタルサービス

## • PC時代

- 2000年 PC出荷1,394万台
- // JPドメイン登録20万件

## • PCからスマホへ

- 2016年 PC出荷1,056万台
- // スマホ出荷2,923万台
- 2017年 JPドメイン登録150万件

## • 究極はサービスにあり

# 情報のデジタル化とネットワーク化の効能

## • 情報のデジタル化

- 分析力
- 見える化
- 自動処理化

## • 情報のネットワーク化

- 内も外もオープン可能
- コミュニケーションパワー
- 情報共有パワー

## • アナログ時代

- 遅くて限度あり
- 味はあるが手書き
- かなり困難

## • 口頭・手紙・電話

- 弱い
- 限定的
- 限定的

# デジタルサービスを支える新しい人材

## プロの人材

- データ分析分野
- ユーザー中心デザイン分野
- SNS時代のIT関連技術

## 一般職員

- ユーザー中心思考の訓練
- デジタルとネットワークリテラシー
- イノベーションへの親和力

# イノベーションと環境



- ☆ 既存の制度・慣習から一旦自由になる(制度からの自由)
  - ・法令のような公式制度(法律、政令、省令、規則)
  - ・慣習のような非公式制度
- ☆ 自分の専門分野から一旦自由になる(専門からの自由)
  - ・ユーザーに関心を持つ
  - ・あらゆるコト・モノ・世界に関心を持つ
- ☆ ホーリズム(全体)の理解と共感(個別から全体へ)

# 英国政府ガバメントデジタルサービス (GDS) デザイン指針 第十

- **Make things open: it makes things better**
  - We should share what we're doing whenever we can. With colleagues, with users, with the world. Share code, share designs, share ideas, share intentions, share failures. The more eyes there are on a service the better it gets - howlers are spotted, better alternatives are pointed out, the bar is raised.
  - Much of what we're doing is only possible because of open source code and the generosity of the web design community. We should pay that back.

# 物事をオープンにする→物事をより良くする

- 可能な限り、私たちがしていることを分かち合うべきです。同僚と、ユーザーと、世界と。コードを共有し、設計を共有し、アイデアを共有し、意図を共有し、障害を共有します。より多くの目がサービス上にあるほど、より良いものが得られます。ハウラーが発見され、より良い選択肢が指摘され、バーが引き上げられます。
- 私たちがやっていることの多くは、オープンソースコードとウェブデザインコミュニティの寛大さによってのみ可能です。それにお返すべきです。

# GDSの契機 2010年



- UK Digital Championのマーサ・レーン・フォックスは、当時の内閣担当大臣の Francis Maudeに宛てた「進化ではなく革命」を求める手紙を書いた。
- 私はDirect.govを単独でレビューしたのではなく、政府がインターネットを使って市民とのコミュニケーションややりとりを改善し、チャネルシフトによる大幅な効率性の向上による節約を実現する方法の一環としてレビューしました。
- この手紙でものごとが動きだし、GDSの新設につながりました。